



社協はしま

発行所/社会福祉法人 羽島市社会福祉協議会
〒501-6255 羽島市福寿町浅平3丁目25番地 (福祉ふれあい会館内)
TEL 058-391-0631 FAX 058-391-0632

「たくさん入れるぞっ！」
～ はっぴーサロン運動会 (児童センター) ～

No.
207
2018.11.1
隔月発行

- 紹介 P2 ・ 共同募金運動が始まりました
- 紹介 P3 ・ たくさんの来場者が！
羽島市社会福祉大会
- 紹介 P4 ・ 福祉協力校活動紹介
あたたかい心で伝え合い 堀津小学校
- 案内 P5 ・ わが街のボランティアさん
- 募集情報 P8 ・ ふれあいインフォメーション



「社協はしま」は共同募金の配分金により作成しています。
本紙に掲載の写真の一部は「はしま写真会」により撮影されたものです。

誰かにつながる

「ありがとう」

共同募金運動が始まりました！



今年も10月1日より、全国一斉に赤い羽根でおなじみの共同募金運動が始まりました。毎年多くの方々のご理解、ご協力により社会福祉事業の推進に役立っています。より良い地域づくりのために、広く地域の皆さんにご理解とご協力をお願いいたします。



あなたに身近な 共同募金

じぶんのまちを
良くするつくまじゅ

昭和22年にスタートし、今日まで続いている歴史の長い活動です。

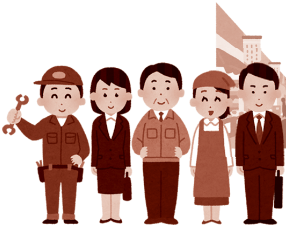
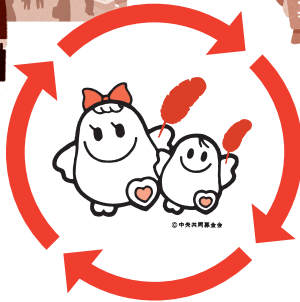
少子高齢化が進む中、近年は高齢者、障がい者、子どもたちへの福祉活動のほか、様々な福祉課題に取り組むボランティア活動などに役立てられています。

一人ひとりの町を思う優しさが、地域で暮らす人々のつながりを強くし、輪となり広がっています。

町を思う



誰かの願いが叶う



町が元気になる



笑顔が増える

何に使われるの？

共同募金運動は都道府県を単位に行われていますが、大規模な災害が発生した際には、災害等準備金を都道府県を超えて拠出しあい、被災地でのボランティア活動を支援します。

子育て支援



子育てへの気持ちが
変わりました

障がい者の就労支援



日々の作業の励み
になっています

いのちの電話



話を聞いてもらって
勇気ができました

第40回羽島市社会福祉大会



▲決意あふれる大会宣言の読み上げ

松井 聡 市長
山田 隆 議長
松井 聡 市長
山田 隆 議長

及び中畑弘
会長から地
域の福祉推
進にご尽力
いただいた
方々へ、そ
の功労を讃
え表彰状と
感謝状の贈
呈を行いま
した。
なお、今
年度は、6
名の方に表
彰状を、47
名の個人・

羽島市社会福祉大会

たくさんの方の来場者が！

この大会は、社会福祉関係者や住民が一堂に会し、地域での福祉活動に関する共通の理解を深める契機とすることなどを目的に毎年開催しているものです。

今年は、9月1日(土)に不二羽島文化センターにて開催し、約千名の方にご来場いただきました。

大会の式典において、松井聡名誉会長(羽島市長)



▲ご尽力に感謝します

団体に感謝状を贈呈しました。

その後、誰もが生きがいや社会的役割を持ち、安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、「公的なサービスでは対応できない困難なことを解決するための取り組みの推進」など、4つの事項を推進していくという大会宣言が満場の拍手により採択されました。

大盛況！ 「福祉講演」

式典終了後は花田景子さんをお招きし、「母として、

妻として、女将として」をテーマにご講演いただきました。

花田さんは、自身がアナウンサーとして活躍していた頃の体験談や、貴乃花親方の現役時代のエピソードに加え、その裏話について語られました。

また、目標を達成するまで決して諦めないという自分の信念を持ち、いろいろなことにも挑戦し続けてきたと語られました。そして、

「失敗を恐れず、挑戦する心を大切にしてください」と呼びかけられました。



▲心に語りかける素敵な講演の花田景子さん

いろんな場でご活用ください！

羽島にこここ体操

羽島市社会福祉協議会では、介護予防を図ることを目的とした「羽島にこここ体操」の普及を図っています。

地域活動支援センターのぞみ舎では、月2回、地域の方とも羽島にこここ体操を行っています。



体操を通じて、みんなで交流をしましょう！

動画は
こちらから
※DVDの貸出も
行っています



この体操を行っている団体を紹介しますので、希望される場合は、本会(☎391-0631)までご連絡ください。



あたたかい心で伝え合い

羽島市立堀津小学校



堀津小学校では、「誰もが安心して過ごすことができる堀津小学校」を目指し、平成29年度は学校や地域での福祉活動を行いました。

特に4年生では、総合的な学習で「福祉」を学んでいます。「福祉」の学習では色々な立場の人の体験を通して、自分たちとの違いや、関わり方などを知り、その人たちの気持ちを考えていくことで、どんな人も自分らしく生き生きとくらしていくことの大切さについて考えていきます。

総合的な学習の時間

4年生の総合的な学習の時間のテーマは「福祉について考える」です。お年寄りの方や足の不自由な方など、いろいろな方が安心して過ごせるように、自分たちがができることを提案していくことを最終的な出口に

しています。そこで、社会福祉協議会の方に協力

をいただき、高齢者疑似体験、車椅子体験をしました。手首、足首に重りの入ったバンドを付けたり、肘、膝を曲げにくくするサポートを付けたりしました。また、胸から膝にベルトをかけることで、腰が曲がるようにしました。さらに、視界がぼやけるようなゴーグルをかけました。このような状態で、階段の上り下りをする体験をしました。さすがに、この状態では歩行が困難であることを実感し、高齢者の方が抱えている苦労を少しだけ知ることができました。また、「車椅子体験」も行いました。車椅子の使い方を教えてもらい、本物の車椅子を使って自走と介助の体験をしました。子どもたちが一番感じたことは、「車椅子に乗って



▲車いす体験

る方を不安にさせない」ということでした。ブレーキを解除する時には必ずハンドグリップを持つことや動かす時には、「動きます。」「曲がります。」などの声かけが必要であることを学びました。さらには、目線を合わせて会話することも学びました。

また、4年生の後期では、総合的な学習の時間で、「福祉について」学習を進めていきました。後期は、

これまでの手話や点字などで学んだことを生かして、「だれもが安心して過ごせる堀津小」をテーマに提案や簡単な作業をしていきました。

「もし、目の不自由な方が来校されたら・・・。」
「もし妊婦さんが来校されたら・・・。」
「車椅子の方が来校されたら・・・。」
そのような方が安心して過ごせるためには、どうしたらよいのかをチームごとに考えました。例えば、足の不自由な方への提案では、東階段は両側に手すりがあるのを、東階段を利用するとよいことを、ポスターを作ってお知らせするというようなことでした。このように、その方の身になって考えると、まだまだ提案できることはありそうだったので、この活動を中心に行い、「福祉」の学習のまとめをしていきました。

ほっつふれあい広場

11月には、「ほっつふれあい広場」がありました。

その中で4年生は、点訳サークル「あすなる」として活躍されている方から点字の必要性や、その読み方作り方について教えていただきました。まず、目の不自由な方に対するエチケットを教えてもらいました。目の不自由な方と接する時は、いきなり声をかけず、「何かお手伝いしましょうか。」などと相手を安心させるような声かけが大事であることを教えていただきました。また、勇気をもって話しかけることも必要であることも教えてもらいました。



▲点字について学ぶ

ボランティア ひまわり 渡辺幸子さん



活動して半年経ちますが…

ひまわりの先輩方は、分からないことは教えてください、悩みを相談すると聞いてくださいます。みなさんと一緒に活動できて、楽しいです。

また、みなさんは地域の「いろいろな」情報を知っている、毎月の定例会に参加するだけでも楽しいです。

活動内容は？

「発達教室もも」のお手伝いをしたり、「もも親の会」で保護者が集う際の話見などを行っています。

ひまわりに入ったきっかけは？

孫が発達教室ももに通っていた時に、ひまわりのことを知りました。

例えば、孫と一緒に参加したキャンプの時のことです。ひまわりのみなさんは、子どもたちと遊んでくれたり、食事を準備してくれたりするなど、いろいろお世話をしてくださいました。そのおかげで、私たち家族もとても楽しい時間を過ごすことができました。

そこで、「いつかお返しをしたい」と思い、今年の4月にボランティアひまわりへ加入し、活動を始めました。

がんばって、
とうもろこしを
茹でるよー!!



行事のお手伝い▶

今後の意気込みは？

仕事もしているため、「先輩方のように長く長く活動できるかな？」と考えてしまいます。

しかし、無理なく自分のペースで活動できることが分かったため、今後も細く長く活動したいです。

岐阜県ボランティア・市民活動フェスティバルに行ってきました



▲「無理せず楽しく続けていくポイント」を説明

ボランティアが、実践事例を共有するとともに、人と人がつながり、大きな輪としていくことを目的に、岐阜県ボランティア・市民活動フェスティバルが9月8日に海津市で行われました。

「ボランティア活動の今とこれから～共感と参加をめざして～」をテーマに、講師から話を聞いたのち、4つの分科会に分かれて、参加者同士で意見交換をしました。

その中の1つの分科会では、「はじめの一步 広げられボランティアの輪」をテーマに、無理せず楽しく続けていくためのグループ運営などについて学びました。

「グループは考え方などが違う人の集まり。自分の中にだけ正解があるのではなく、相手の正解を受け入れる度量と余裕を持つことが楽しく活動をしていくためのポイント」とお話をされました。人と人がつながり続けるために大切なことを改めて学ぶことができました。

ボランティアは、単なるお手伝いではありません。
「ボランティアが必要な理由」を十分理解し、
目的を持って活動しましょう。

ボランティアに関するご質問・ご相談等は、

羽島市福祉ボランティアセンター(☎391-0631)まで

(羽島市社会福祉協議会内) お気軽にお問い合わせください

ご存知ですか？

住宅改修費の一部が支給される場合があります！！



羽島花子さん

自宅に住む高齢者のために、家の中に手すりを付けるなどの改修をしたいと思っていますが、費用の面で心配しています。

介護保険制度の中に、環境改善のための小規模な住宅改修を行ったとき、その改修費の一部が支給される仕組みがあります。ただし、要介護または要支援の認定を受けた方が対象です。

住宅改修費の支給については、一度改修費全額を利用者が支払い、後日20万円を上限に改修費が支給されます。ただし、利用者負担分（1割～3割）が差し引かれます。

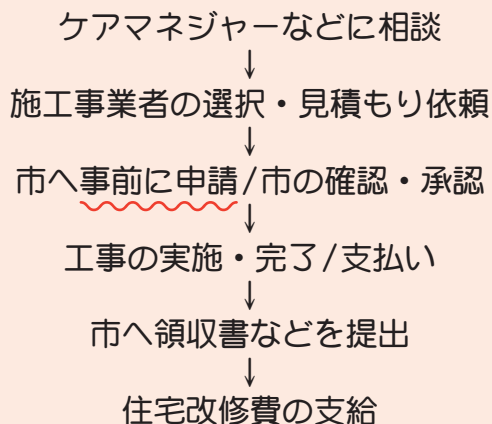


地域包括支援センター

〔支給の対象となる住宅改修〕

- 滑りの防止・移動の円滑化などのための床または通路面の材料の変更
 - 床段差の解消 ○手すりの取り付け ○引き戸などへの扉の取り替え
 - 和式から洋式便器などへの取り替え
- ※上記の改修に伴って必要となる改修（下地強化、給排水設備工事など）も対象となります。

利用手続きの流れ



工事実施前に市の確認・承認がないと住宅改修費は支給されませんので、注意してください。

地域包括支援センターでは、高齢者のみなさんの介護、健康や福祉、医療に関するご相談を受け付けています。
お気軽にお電話ください！！

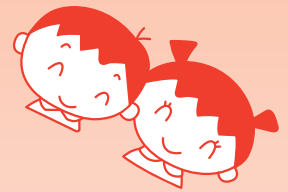


羽島市地域包括支援センター
（高齢者総合相談センター）

☎394-2521

羽島市福祉ふれあい会館内

児童センター だより



ゆめ広場ハッピーコンサート17

♪音楽の午後♪

はちまん正人

スターダストスターズ クリスマスコンサート



【日 時】 **12月23日(日)**

開場 12:30

開演 13:00 終演 15:30

【場 所】 不二羽島文化センター みのぎくホール
※文化センターではチケットの取扱いはありません

【参加費】 1席 900円 (全席指定)

【主 催】 「子育て支援クリスマスハッピーコンサート」
実行委員会

児童センターにて

チケット好評受付中

はしま子育て支援チームの活動

「ほっとブレイクデー」

【日時】 11月14日(水)・12月12日(水)
10:00~12:00

【場所】 児童センター 図書室
コーヒー又は紅茶とパンのセットで130円です。

「子育て講座」

【日時】 11月28日(水) 10:30~11:30

【場所】 羽島市福祉ふれあい会館 2階

【講師】 三神廣子先生

※12月は、お休みさせていただきます。

お問合わせ：☎090-3447-8082(馬場)

お気軽にご参加ください。

児童センタークリスマス会

親子で楽しみましょう♪

【日 時】 12月14日(金) 10:30~11:30

【場 所】 児童センター アリーナ

【内 容】 クリスマスクラフト・サンタさん登場!

【対 象】 乳幼児と保護者

【定 員】 50組

【参加費】 乳幼児1人につき100円

【申込期間】 11月8日(木) ~21日(水)

はっぴーサロンコーナー

● はっぴーサロンクリスマス会 ●

～みんなでティーパーティしましょう!～

【日 時】 12月7日(金)

10:30~11:30

【場 所】 児童センター
アリーナ

【対 象】 乳幼児と保護者

【定 員】 30組

【参加費】 1組400円 (ケーキ・お菓子など)
当日集金

【申込期間】 11月1日(木) ~14日(水)



※将来、子育て支援活動に携わりたい方も見学(体験)していただけます。

お気軽にお問い合わせください。

お申し込みについて

開館時間内に、各専用申込用紙に記入して児童センター事務室の申込箱に入れてください。
※定員以上の申込みがあった場合は、公開抽選を行います。

お申し込み・お問い合わせは

羽島市児童センター (羽島市福祉ふれあい会館4階)

☎ 391-1226 FAX 391-1622

e-mail : jidokan@hashima-shakyo.or.jp

インターネットURL <http://hashima-shakyo.or.jp/jidokan/>

休館日：毎週月曜日、第1・3日曜日、祝日

ロバ隊長作製プロジェクト

協力者募集!

2020年度末までに
目標
1,000個!!

「ロバ隊長」のマスコットを作りますが
認知症キッズサポーター養成講座を受講した子ども
たちに『ロバ隊長』のマスコットをプレゼントし、家族
等と認知症について話をするきっかけとなることなど
を目指しています。

- 活動日時** 随時 ※ご都合に合わせて活動ください
- 活動場所** ご自宅や職場、施設など
- 対象者** どなたでも
- 活動内容** フェルトでロバ隊長のマスコットを作る



「ロバ隊長」とは...

認知症になっても安心して
暮らせる町づくりめざす認知症サポーターキャラバンの
マスコットキャラクターです。

お問い合わせ

羽島市地域包括支援センター (高齢者総合相談センター)

☎394-2521

羽島市福祉ふれあい会館内



募集

「福祉関係当事者団体
助成金」助成希望団体

福祉関係の当事者団体が、
平成31年度にその会員を主
な対象として行う、研修会
や交流会などの経費の一部
を助成します。
対象 羽島市内に活動拠
点のある障がい者
等の当事者団体
助成額 10万円(上限)

申込方法

12月7日(金)までに、
本会まで申請書を
ご提出ください。

備考

申請書は本会窓口
及びホームページ
にて配布します。

助成対象となる団体の要
件や対象事業などについて
は、本会事務局(☎391
-0631)までお問い合
わせいただくか、本会のホ
ームページにてご確認ください。

情報

おしゃべりで
リフレッシュ

介護者同士でお茶を飲み
ながらお話をしたり、情報
交換をしたりする介護者サ
ロン「にここカフェ」を
行っています。

実施日

- ① 温泉会場
11月22日(木)
- ② 正木会場
12月14日(金)

時間

いずれも13時30分
〜15時30分(途中
参加・退席可)

会場

- ① 羽島温泉(桑原
町午南) 面接相
談室
- ② 正木コミュニテ
ィセンター(正
木町坂丸) 和室

参加費

100円

在宅の要介護者を
介護している人



▲かわいい看板で
お出迎え



羽島市福祉ふれあい会館 案内

- 4F 羽島市児童センター
- 3F 羽島市発達支援センター
発達教室もも・相談室もも
- 2F 地域福祉活動センター
- 1F 羽島市社会福祉協議会事務局
羽島市福祉ボランティアセンター
ふれあい介護支援センター
羽島市地域包括支援センター

- ◆ 本会への寄付
匿名 1件
- (8月16日から10月15日まで)
- ◆ 平成30年7月岐阜県豪雨
災害義援金
窓口募金箱 8144円
(7月13日から9月28日まで)

ありがとう!
あったかハート